

## 小児病棟プロジェクト報告

デザイン・クリエイティブ研究所顧問 岡本清文

### 概要

2025年11月、近畿大学病院が大阪狭山市から堺市の泉ヶ丘駅前に移転しました。新病院の計画は遡ること10年ほど前に始動し、様々な企画検討の末に完成しました。

全体計画とメインになる診療棟は大林組による設計施工ですが、その6階にある小児思春期科は、デザイン・クリエイティブ研究所のデザイン監修によります。「小児病棟プロジェクト」は当研究所のシードプロジェクトとして、2023年より3年間にわたり、数多くの教員、学生、企業、地域の協力を得ながら環境デザインを行ってきました。

発端は医学部小児科学教室からの依頼でした。我々に期待されたのは「できる限り小児患者目線に立って、様々な苦痛や困難に向き合う彼らを環境面から支援する」ことでした。

医療とは、疾病の診断・治療という身体への直接的介入だけではなく、患者を取り巻く行為（看護やリハビリ）、管理、環境などを含めた概念です。医療施設とはそのような総合的ケア—言い換えれば“サービス”を提供する場であるはずですが。しかし日本の医療環境には、Hospitalの語源になっているhospitalityという視点が少し足りないように感じます。デザイン・クリエイティブ研究所をハブに、医学部、文芸学部、経営学部、情報学部という多様な専門分野が協業して医療環境＝ホスピタリティを考えることは、まさに総合知を生かした大学病院ならではの試みです。

我々は、新病院における小児病棟プロジェクトの位置付けを以下のように設定しました

- 1 他の診療科や病院全体にも水平展開可能な、新しい医療環境のプロトタイプとして捉える。
- 2 医師・看護師のみならず、CLS※をはじめ、小児患者、学生、地域住民等の参画を促し、インクルーシブ・デザインの視点で設計する。
- 3 新病院のアピールポイントとして重点設計し、情報発信コンテンツにする。

※ チャイルドライフスペシャリスト（Child Life Specialist）

CLSは、小児医療チームの一員として、子どもや家族と遊びを通じた関わりにより、発達の支援とストレスの軽減を図ることを主な目的にしています。対象患者は入院中の新生児から思春期まで、また、兄弟姉妹を含む家族や、学校など地域社会への支援活動も行ないます。近大病院では早くからCLSを導入しています。

また医学部からの問題定義や要望を元に、デザインの重点課題として、以下の4点を掲げました。

- 1 恐怖・緊張緩和—治療や検査時の小児患者の心理面でのサポート。
- 2 QOL向上—こどもの成長を促す。生活の退屈さを紛らわす。
- 3 患者の総合的な管理—居場所、様子、医療データ等をデバイスで一元管理する。

以上の方針に沿って、空間、プロダクト、グラフィック、コミュニケーション、サービス等、様々なデザイン領域を横断しながら小児冒頭の環境でアインを行いました。

# 近大病院小児病棟プロジェクト

—小さな**こども**の大きな**未来**を守るために学生と考えた1000日—

## 【閲覧上の注意】

本資料の著作権は近畿大学デザイン・クリエイティブ研究所に帰属します。

個人的な利用や教育・研究目的での引用を除き、無断での複製、転載、配布、公衆送信（他サイトへのアップロード等）はご遠慮ください。

引用される場合は、必ず出典（「近畿大学デザイン・クリエイティブ研究所 令和7年度報告会発表資料」等）を明記してください。

資料の内容は発表当時のものであり、予告なく変更・削除される場合があります。  
また、本資料は掲載時点の情報に基づいています。内容の正確性については万全を期しておりますが、利用者が本資料を用いて行う一切の行為について、当研究所は何ら責任を負うものではありません。

2025. 11月

近畿大学おおさかメディカルキャンパス



医学部小児科学教室

Mission

「できる限り小児患者目線に立って、  
様々な苦痛や困難に向き合う彼らを環境面から支援する」

デザイン・クリエイティブ研究所

# 先行研究

2010年～2012年 学内共同研究助成金

医学部—文芸学部連携プロジェクト

新しい医療環境—Hospital amenityの研究開発

# 院内アート展



Hospital art

# Heart

## EXHIBITION

KINKI UNIVERSITY School of Literature, Arts, Cultural and Language Intercultural Studies  
Ceramic Art / Painting / Textiles / Spatial Design / Printing / Glass work / Sculpture

第2回  
近畿大学 文芸学部 芸術学科 院内作品展  
2010.08.09 -- 09.18

会場 売店前通路 [1F] | 待合いロビー [2F] | 耳鼻科横ギャラリー [3F]

主催：医学部附属病院一文芸学部連携プロジェクト 共催：サービス向上・業務改善委員会  
問い合わせ：近畿大学医学部附属病院 総務課 田花永久 tel: 072-396-0221 (内線 2162)  
近畿大学文芸学部芸術学科造形美術ホームページ: <http://copc01.cc.kindai.ac.jp/bungel/zeijutsu/zokel/>



# 院内WEB講座

## Bedside University

院内大学web講座 第1回開催

12月24日(金)

午後 3:30--4:30

PET棟3階 大会議室

近畿大学医学部附属病院では、東大坂キャンパスにあります文芸学部との共同研究として、「ホスピタルアムニティ」(快適な医療環境)というコンセプトのもと、最新医療の提供だけでなく、患者様に過ごしていただく時間・空間・環境づくりについての取り組みを実施しています。このたび、大学病院の利点を生かし、本部キャンパスから遠隔講座を開きます。いわば院内大学というわけです。

第一回目は芸術学科の版画教授による絵画の鑑賞です。堅苦しい講義ではないので気軽に参加いただき、病院生活での時間を、少しでも有意義に過ごしていただく機会としてください。

複製禁止



## 絵画鑑賞教室

日常礼賛 -ヨハネス・フェルメールの魅力-

講師：近畿大学 文芸学部 学部長 井面信行

KINKI UNIVERSITY School of Literature, Arts, Cultural and Language Intercultural Studies.

## Bedside University

院内大学web講座 第2回開催

6月7日(火)

午後 3:00--4:00

PET棟3階 大会議室

近畿大学医学部附属病院では、東大坂キャンパスにあります文芸学部との共同研究として、「ホスピタルアムニティ」(快適な医療環境)というコンセプトのもと、最新医療の提供だけでなく、患者様に過ごしていただく時間・空間・環境づくりについての取り組みを実施しています。このたび、大学病院の利点を生かし、本部キャンパスから遠隔講座を開きます。いわば院内大学というわけです。第二回目は芸術学科の林教授による歌舞伎のルーツについて。堅苦しい講義ではないので気軽に参加いただき、病院生活での時間を、少しでも有意義に過ごしていただく機会としてください。

複製禁止



## 歌舞伎のルーツ

阿国歌舞伎の史実に迫る

講師：文芸学部 芸術学科 舞台芸術 林 公子

KINKI UNIVERSITY School of Literature, Arts, Cultural and Language Intercultural Studies.

## Bedside University

院内大学web講座 第3回開催

7月2日(月)

午後 3:00--4:00

PET棟3階 大会議室

近畿大学医学部附属病院では、東大坂キャンパスにあります文芸学部との共同研究として、「ホスピタルアムニティ」(快適な医療環境)というコンセプトのもと、最新医療の提供だけでなく、患者様に過ごしていただく時間・空間・環境づくりについての取り組みを実施しています。このたび、大学病院の利点を生かし、本部キャンパスから遠隔講座を開きます。いわば院内大学というわけです。第三回目は日本文学専攻の佐藤先生と舞台芸術専攻の盛先生による三島由紀夫の解説と朗読を行います。堅苦しい講義ではないので気軽に参加いただき、病院生活での時間を、少しでも有意義に過ごしていただく機会としてください。

三島由紀夫



## 短編小説を読む

三島由紀夫「橋づくし」

講師：文芸学部 文学科 日本文学専攻 佐藤秀明(解説)

芸術学科 舞台芸術専攻 盛 加代子(朗読)

KINKI UNIVERSITY School of Literature, Arts, Cultural and Language Intercultural Studies.

# 小児処置室のリニューアル

2011.9月

before



after



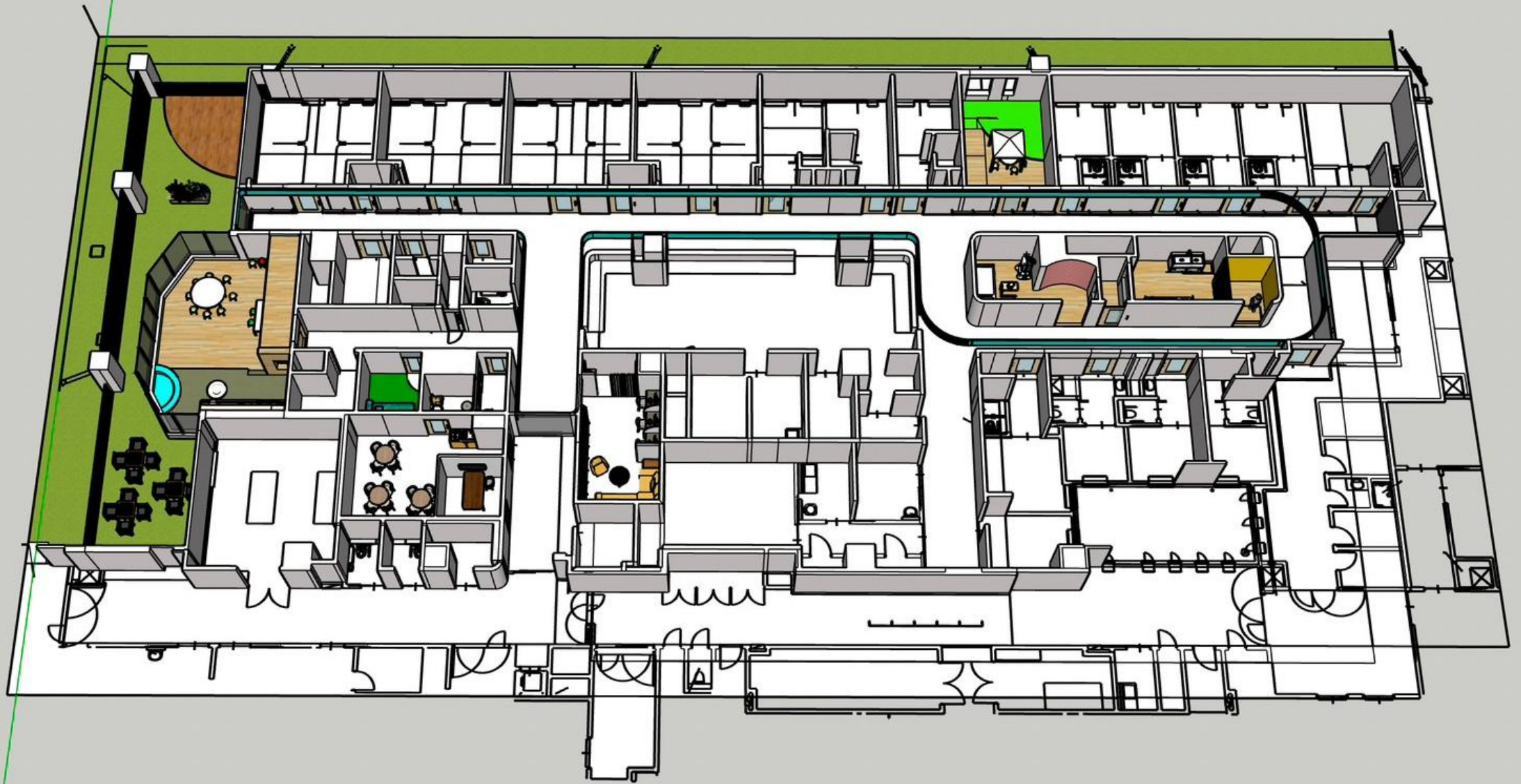
## 小児病棟プロジェクトの位置付け

- 1 他の診療科や病院全体にも水平展開可能な、新しい医療環境のプロトタイプとして捉える。
- 2 医師・看護師のみならず、CLS※をはじめ、小児患者、学生、地域住民等の参画を促し、インクルーシブ・デザインの視点で設計する。
- 3 新病院のアピールポイントとして重点設計し、情報発信コンテンツにする。

※ Child Life Specialist (チャイルドライフスペシャリスト)

## デザインの重点課題

- 1 **恐怖・緊張緩和**—治療や検査時の小児患者の心理面でのサポート。
- 2 **QOL向上** — こどもの成長を促す。生活の退屈さを紛らわす。
- 3 **患者の総合的な管理** — 居場所、様子、医療データ等をデバイスで一元管理する。
- 4 **外部との接点**—家族、友人との面会を促進する。



# プレイルーム



# プレイコーナー



# ティーンズルーム



# メディテーションルーム



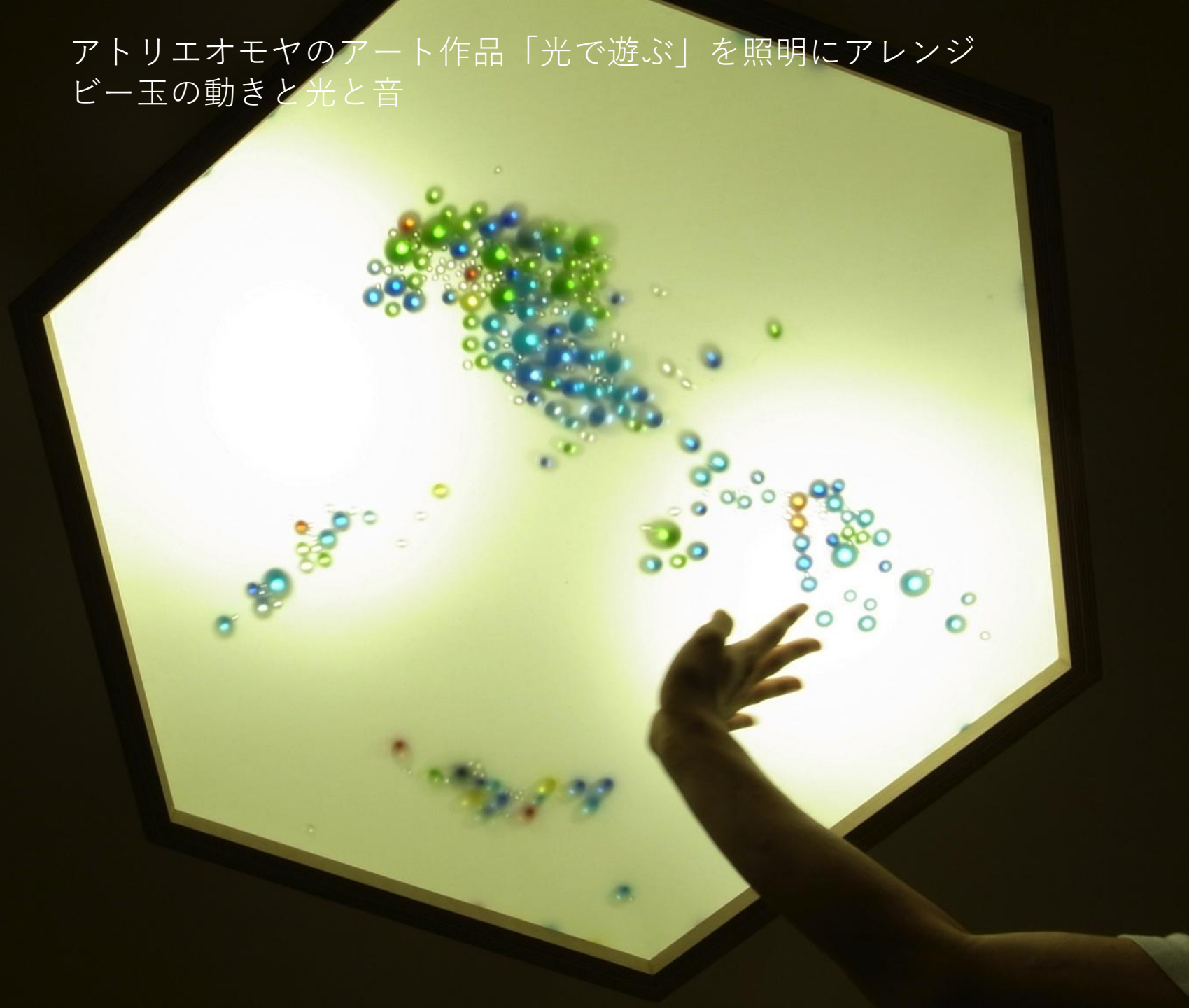
# 面会室



# 処置室



アトリエオモヤのアート作品「光で遊ぶ」を照明にアレンジ  
ビー玉の動きと光と音



# テラス 原設計



# フェンスの森



# フェンスの森ワークショップ



近畿大学	社会福祉法人 青山会	東大阪市立 楠根小学校
近畿大学 小児科	近畿大学 附属小学校	近畿大学病院
近畿大学 附属幼稚園	近畿大学 附属中学校	近畿大学 付属高校

# 光庭

before



after



# フリーズ (Frieze)





4



5



6



7



8



9



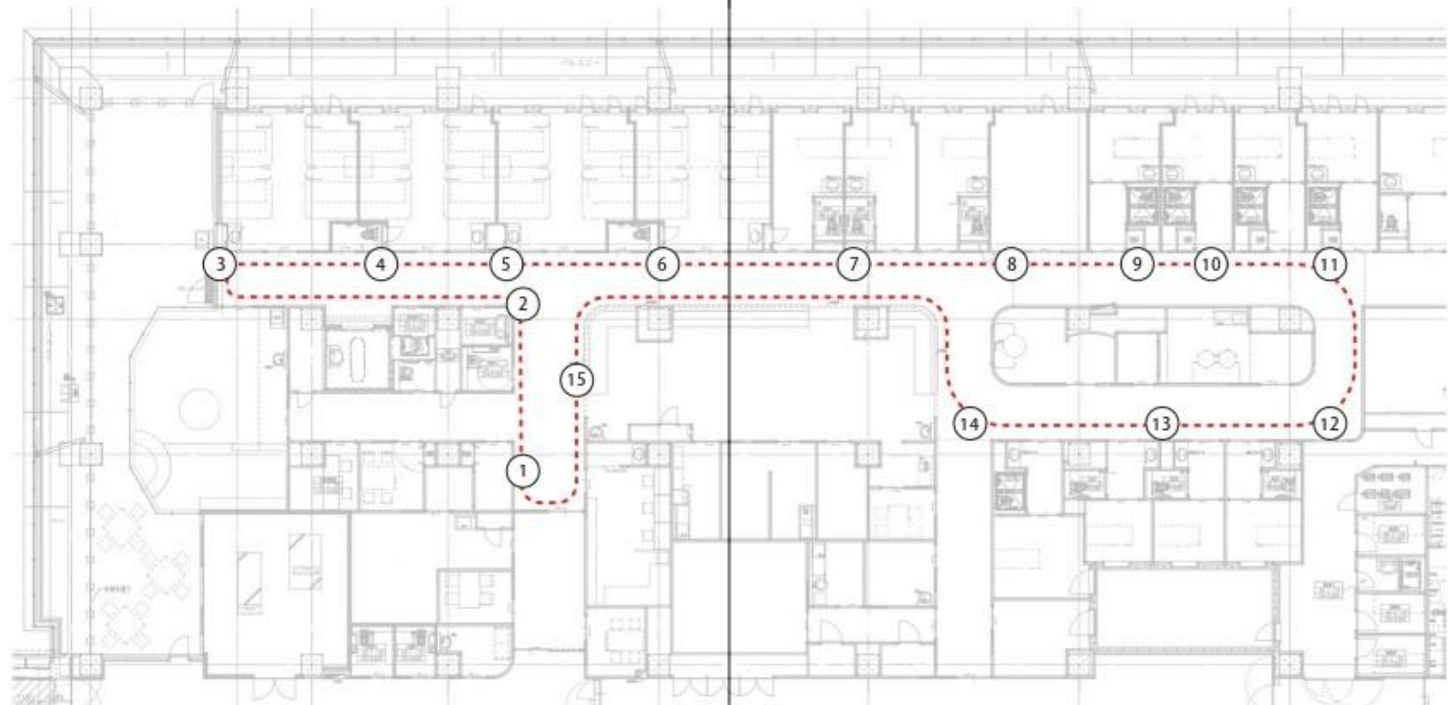
3



2



1



10



11



15



14



13



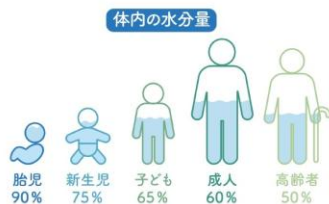
12



# 生命の帯

人間の体も大人では約60%、子供はより多くの水分でできていて、この水分は人が生きてゆくのにとても大切な役割をはたしています。

体内の水分は、血液やリンパ液として体中を駆けめぐり、酸素や栄養を運んで老廃物を排出します。また、体温調整や細胞の機能を正常に保つためにも必要です。



## Frieze of Life

いのち おび  
生命の帯

### ひかり 光

地球に降り注ぐ光は生命の源です。

植物は太陽の光で酸素を作り、人間や動物はその酸素を吸って生きています。

日光に当たって野菜や果物が育ち、私たちはその恵をいただいています。

太陽の光をあびることは、私たちの心と体に健康にいろいろな良い影響をもたらします。

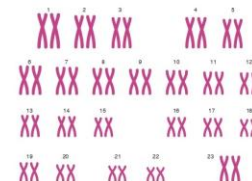
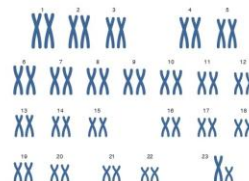
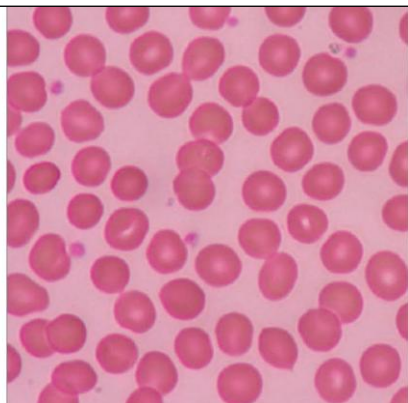
昔から「太陽が一番の薬である」といわれているように、太陽の光を肌にあびると、骨や歯を丈夫にするビタミンDができます。



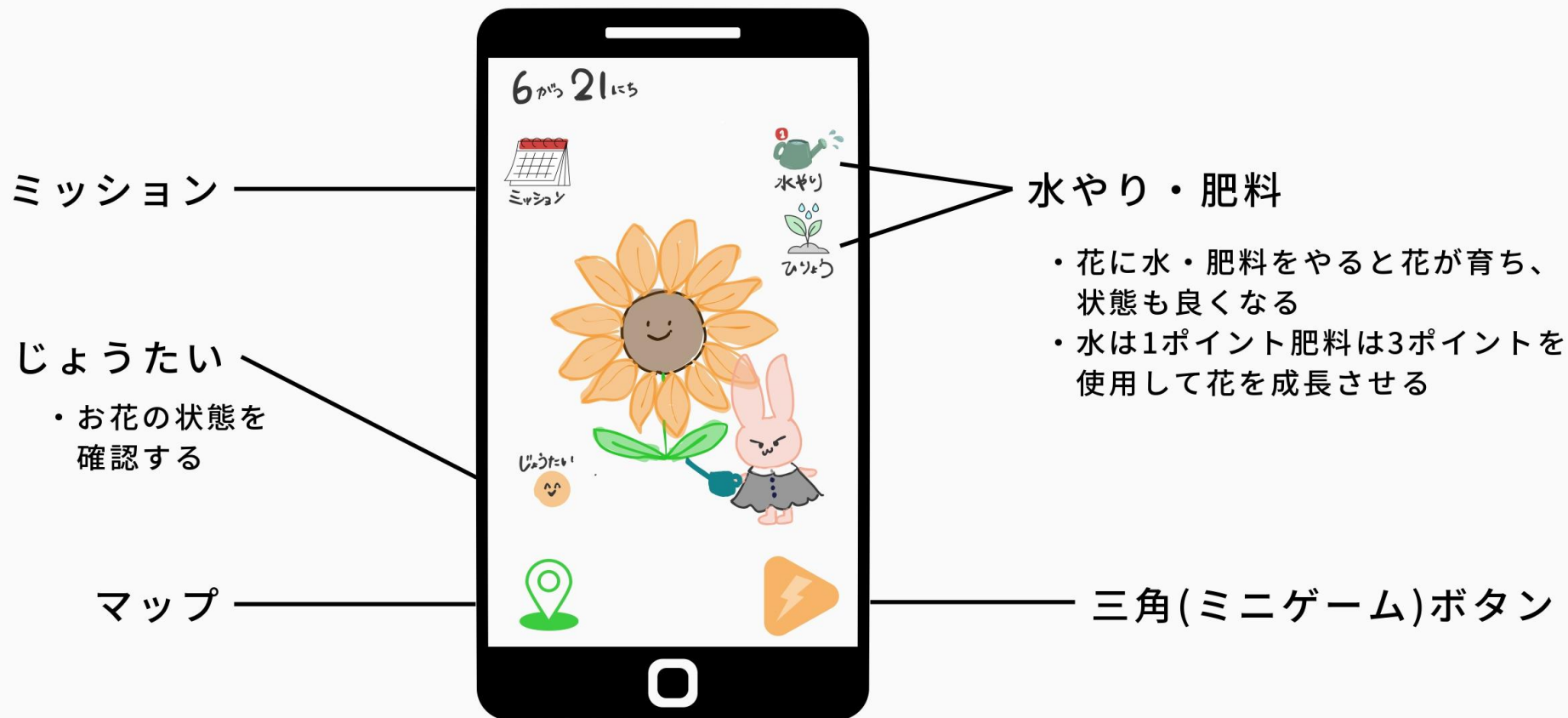
### いのち かたち 命の形

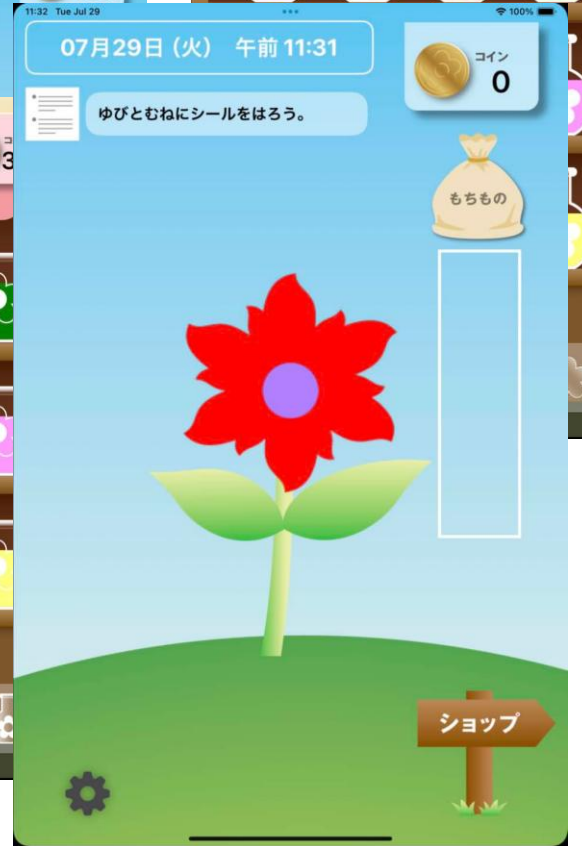
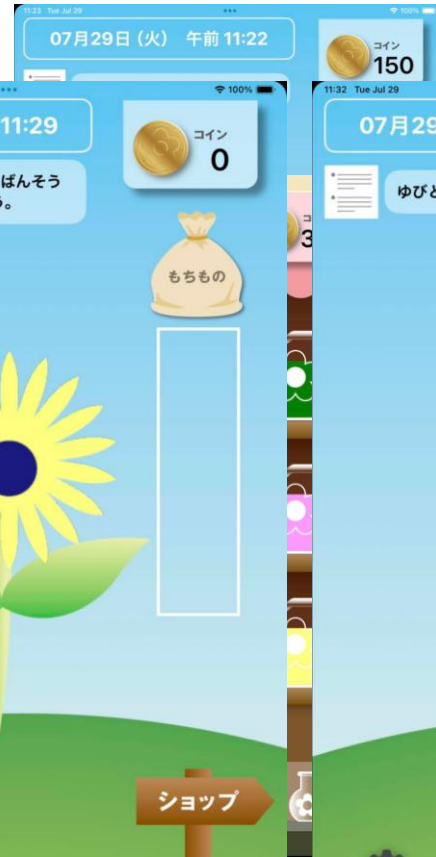
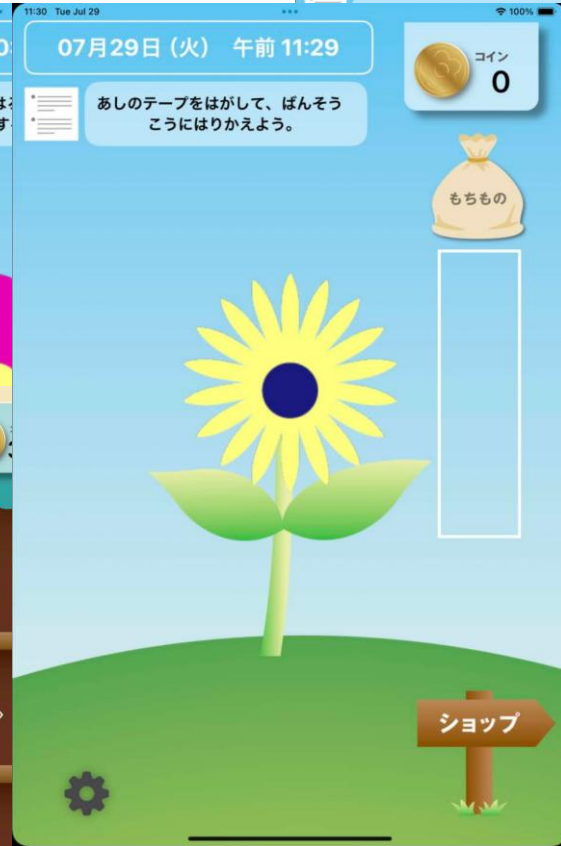
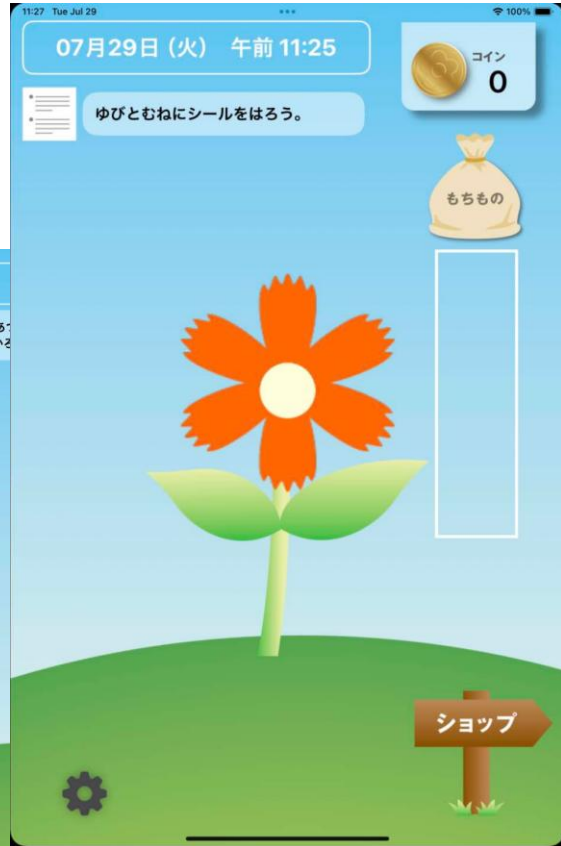
私たちの体にはいろいろな役割をもつ細胞、組織、器官があって、生命を支えています。目に見えない小さな世界を顕微鏡で覗いてみると、そこには不思議な形がいっぱいあります。

それらは美しい絵のようでもあり、面白いキャラクターにも見えます。それぞれの細胞が協力し合って、私たちの健康を作ってくれています。時々自分の体の中にある見えない世界を想像し、小さな細胞たちに感謝しましょう。

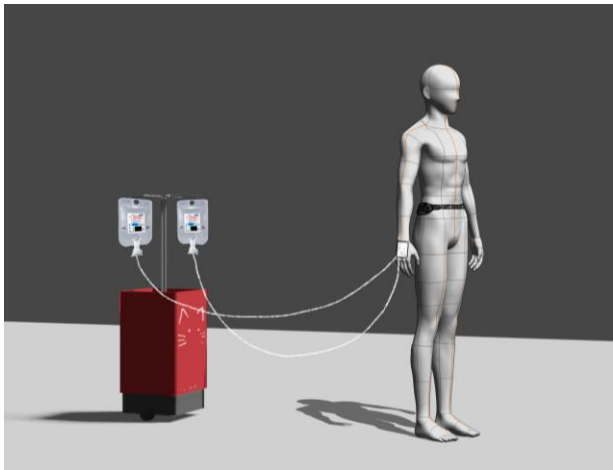


イメージ





# 学生のアイデア



追従型点滴ロボット

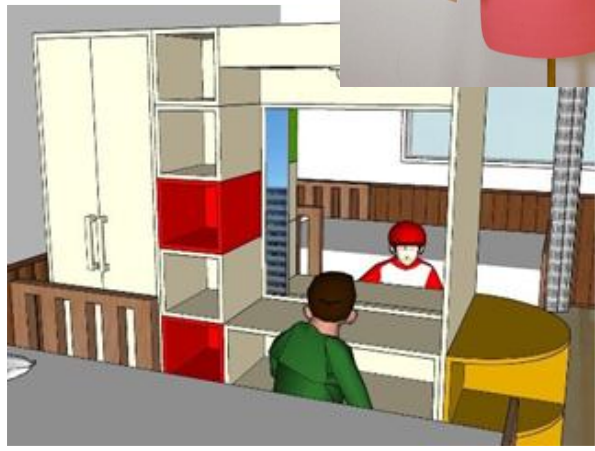
戦隊ヒーローX線防護エプロン



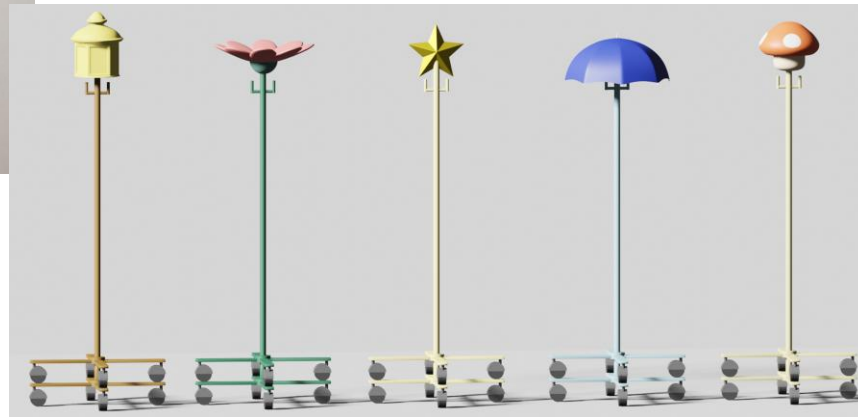
MYナースコール



大学生による  
zoom講演や演奏会



病室の空間デザイン



かわいい点滴スタンド



植物育成による自主活動



漢方薬づくりのワークショップ